

第1回定例研究会

「人体模『型』歴史 ヨーロッパを中心に」

第1回定例研究会は、本学非常勤講師の川井ゆう先生をお招きして、「人体模『型』歴史 ヨーロッパを中心に」というテーマで講演いただきました。川井ゆう先生の研究テーマは、実物どおりに着彩された等身大の人形。菊人形のほかに、花人形、せともの人形、吉浜細工人形、活人形、人体模型、マネキン、ロウ人形、奉納細工、フューネラル・エフィジー、仏像、彫刻、義手、義足、一式飾り、着せ替え人形など多岐にわたっています。フィールドワークでは、日本全国をめぐり、さらにオーストラリア、英国、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ハンガリー、オランダ、デンマークと、各地で調査を実施されています。研究会では、「人体模型」について、世界中で収集された貴重な資料をもとに、お話いただきました。

講師

川井 ゆう 氏（武庫川女子大学 情報メディア学科 非常勤講師）

テーマ

人体模「型」歴史 ヨーロッパを中心に

講演日

2005年4月16日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

